

令和3年度 下半期事業報告

小牧市障害者自立支援協議会

相談支援

- 1 市内全体の相談支援体制の構築
- 2 相談支援専門員の質の向上
- 3 関係機関との連携

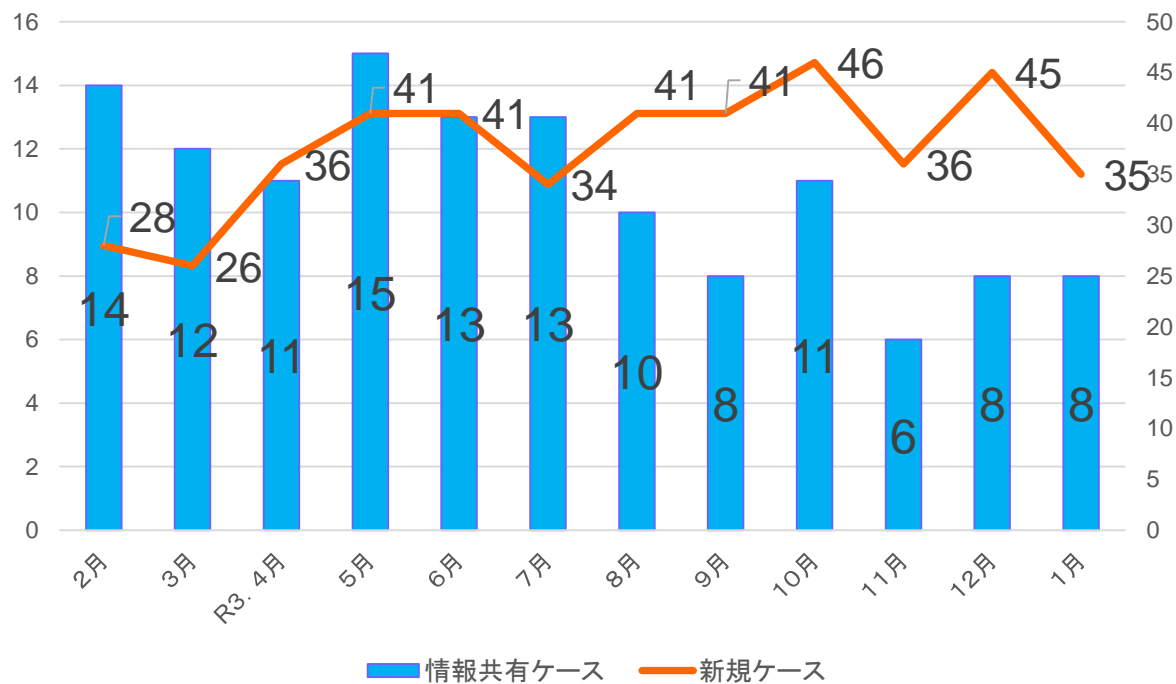
1 市内全体の相談支援体制の構築

定例会(毎月)

①新規相談の共有と全事業所での対応

②困難ケースの共有と継続支援

新規・情報共有ケースの状況



- ・精神障害関係、介護保険への移行、子育てできない親の相談が増えている。
- ・本人だけでなく家族の対応や家計相談など、障害分野を越えた対応が求められる。
- ・相談員が増えない。
- ・セルフプラン率が高いのも課題。

⇒相談全体の連携、多職種との連携が必要

2 相談支援専門員の質の向上

①子育て世代包括支援センターを知る勉強会

日時:令和3年9月21日(火) 9:30~10:30

講師:小牧市子育て世代包括支援センター職員

参加:相談員18名

②日常生活自立支援事業の勉強会

日時:令和3年12月21日(火) 9:30~10:30

講師:日常生活自立支援事業担当職員

参加:相談員17名

- ・複雑な相談が増えてきて、相談員も多機関の知識が必要となっている。
- ・定例会でその都度課題に上がるテーマに合わせて勉強会を開けたことはよかった。
- ・今後もテーマごとに短時間で行える勉強会を継続していきたい。

3 関係機関との連携（出前講座）

出前講座：児童相談センター

日時：令和3年11月4日（木） 10:00～11:30

相談員1名を派遣

テーマ：親子支援と社協事業について

参加：センター職員25名

- ・児童相談所では障害福祉サービスについてなかなか現状把握することができない。
- ・ネットなどで調べるだけではわからない社会資源の特性を知ることができた。
- ・顔のつながりができ、相互の役割を知ること、連携する時により良い子どもへの関わりができると思われる。

こども連絡会

- 1 切れ目のない支援体制づくり
- 2 サービスの質の向上**
- 3 障がい児の受入れ促進

2 サービスの質の向上

①事例検討会の開催

日時:10月28日(木)

テーマ:気持ちの切替えが
できない子の事例

参加:子ども関係事業所21名



②療育支援事業

テーマ:障がい児の療育指導について

日時:10月8日(金) 事例:岩崎保育園 参加:17名

12月14日(火) 事例:児童発達支援センターしっぷ

参加:25名

- ・他事業所の療育の方法を知ることができた。
- ・一つの事例を通して、それぞれの機関がどのように対応できるか学ぶことができた。



こども連絡会

医療的ケア児等ネットワーク部会



1 医療的ケア児等の支援体制づくり

1 医療的ケア児等の支援体制づくり

①医療的ケア児宅訪問

日時:11月18日(木)~12月9日(木)

対象:市内の医療的ケア児(昨年度アンケートの回答者)
10名

訪問者:医療的ケア児等コーディネーター
保健センター保健師
あさひ学園職員
子育て世代包括支援センター

- ・医ケア児等コーディネーターとの顔つなぎができた。
 - ・自宅での様子を見ることができた。
- ⇒今後継続して訪問し、状況や課題の把握を続ける

1 医療的ケア児等の支援体制づくり

②医療的ケア児等ネットワーク部会での検討

テーマ：保育園に入園希望している幼児の事例について、経過を追いながらその都度発生する課題に対して検討する。

日時：11月2日（火）～

参加機関：当事者の会、あさひ学園、小牧特別支援学校、保健センター、幼児教育・保育課、教育委員会、子育て世代包括支援センター、訪問看護、相談支援事業所、医ケア児等コーディネーター

- ・市内の保育園や学校、その他の施設でも医療的ケア児が他の児童と変わらない生活を送れるようにしたい。
- ・保育や学校現場だけでなく、医療・福祉関係者が集まり知恵を出し合う場としたい。

⇒具体的なケースの動きについて検討し、実績を積上げる

日中活動系連絡会

- 1 余暇活動の場の確保
- 2 サービスの質の向上

1 余暇活動の場の確保

にじカフェの開催

日時: 12月16日(木)

場所: 本庄プラザ

カフェ・プラザール

対象: 障がい者のご家族

内容: ミニ勉強会

「グループホームについて」

参加: 11名



- ・学校卒業後に情報を得る場がない。
 - ・福祉サービスについてもっと知りたかった。
 - ・保護者のつながりを持てて良かった。
- ⇒地域の既存の場所を活用して、年4回程度実施を予定

2 サービスの質の向上

①事業所見学会

主旨：日中活動系の事業所が相互の事業所を知り、当事者に適切な場づくりを進める。

日時：11月15日（月）～12月10日（金）

参加：日中活動系
10事業所

- ・自分の事業所にはない運営の在り方や事業所ごとの工夫がみられて参考になった。
- ・管理者だけでなく、現場の職員も参加できたことで具体的な利用者の対応や作業の仕方がよくわかった。

⇒事業者全体のサービスの質の向上

②事例検討会

日時：12月14日（火）

テーマ：障がいを持つ方の高齢化、事業所間での支援の連携

参加：日中活動系事業所19名

就労支援連絡会

1 事業所の質の向上

2 地域との交流、障がい者の社会参加

2 地域との交流、障がい者の社会参加

ポストカードづくり

主旨：市内のふれあい・いきいきサロンがコロナ禍で会えなくなった仲間にメッセージカードを送ることを企画。そのカードの挿絵を担当。地域交流の一端を担う。

日時：11月

参加：3事業所

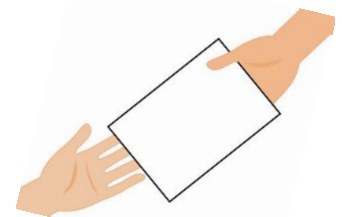
2,300枚作成

7/28 サロンの勉強会

地域支え合い
推進員



ハガキの
デザイン作成



市内の
サロンへ

その他

- 1 虐待対応と新たなネットワークづくり
- 2 福祉人材の確保

1 虐待対応と新たなネットワークづくり

①障がい者虐待対応研修会の実施

日時:1月25日(火)

講師:鈴木康仁氏
(尾張北部圏域地域
アドバイザー)

参加:26名

=ねらい=

- ・虐待通報など、基本的な虐待ケースの対応方法について学習する。
- ・参加者から対応に困った事例を出し、具体的な対応方法を学ぶ。

②共同生活事業所(グループホーム)の意見交換会の実施

日時:12月2日(木)

参加:12事業所

- ・初めて交流会を開催。
- ・相互に業務や利用者の対応などの情報交換が行えた。
- ・利用者の高齢化により医療や介護保険の併用に課題が生じる。

⇒今後も継続し、ネットワーク化をめざす

2 福祉人材の確保

①福祉就職フェアの開催

日時:2月26日(土)

10:00~15:00

場所:ふれあいセンター

リモート面談形式

②Zoom面談会の開催

期間:2/12(土)~3/12(土)

Zoomを活用したエントリー形式



地元の企業があなたを待っている!

介護 児童 障がい

小牧×福祉 就職フェア

2月26日(土)
10:00~15:00

会場:ふれあいセンター 小牧市小牧5丁目407

入場無料 服装自由 エントリー履歴書 不要

小牧市内の21事業所と会場からオンライン面談!

コロナ対策 相談ブース有 未経験無資格 歓迎

2/26参加できない方には

Zoom面談会開催

2/12(土)~3/12(土)

エントリーはこちら!!

右記QRコードからエントリー頂くとご希望の日程で事業所担当者と面談日を調整します。



小牧市障害者自立支援協議会 事務局
小牧市社会福祉協議会 TEL:0568-65-7050 FAX:0568-75-2666

まとめ～次年度に向けて

相談支援事業所連絡会

- ・全体的な相談支援体制の定着
- ・基幹相談支援センターの設立準備

こども連絡会

- ・サービス事業所の連携強化
→事業所部会の設置
- ・障害児サービスの質の向上

医療的ケア児等ネットワーク部会

- ・医療的ケア児への継続訪問
- ・事例を通じた検討会議

日中活動系・就労連絡会

- ・余暇活動など、共通活動について協働で実施

精神障害者の地域包括ケア

- ・地域移行・地域定着相談の実績の積み上げ
- ・医療機関との連携

地域生活支援拠点の整備

- ・グループホームの意見交換会の開催